

花王と慶應義塾大学との共同プロジェクト  
家族の多様なあり方・暮らし方を言語化した  
『家族を育むスタイル・ランゲージ』を制作

花王株式会社 生活者研究センターは、慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇研究室との研究プロジェクトにて、いろいろな家族のあり方・暮らし方を言語化した『家族を育むスタイル・ランゲージ』を制作しました。

本プロジェクトでは、2016年に自分らしく子育てしながら働くための工夫をまとめたパターン・ランゲージ※「日々の世界のつくりかた」を制作しました。これに続く『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、家族の多様なあり方・暮らし方をまとめた言葉たちです。普段は知ることが難しい他の家族のスタイルを知ることができ、自分たちなりの「日々の世界」をつくるためのヒントにすることができます。

本成果『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、11月23日（木・祝）に東京ミッドタウンで開催される「慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017 (ORF2017)」にて発表し、それをういた対話のワークショップも実施します。

※パターン・ランゲージとは、実践知を共有するための方法の一つ。

## ■『家族を育むスタイル・ランゲージ』の発表と体験の機会

『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、11月23日（木・祝）に東京ミッドタウンで開催される慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2017 (ORF2017)内のセッションにて発表・ワークショップを行います。

日時：2017年11月23日（木・祝）13:00～14:30

場所：東京ミッドタウン・タワー4階カンファレンス Room 7

SS-03「<花王株式会社スポンサーセッション>

家族を育むスタイル・ランゲージ - 日々の世界のつくりかた」

詳細：<https://orf.sfc.keio.ac.jp/2017/session/ss-03/>

※入場無料・事前登録不要です。SFC Open Research Forum 2017 (ORF2017)については、<https://orf.sfc.keio.ac.jp/2017> をご覧ください。

※慶應義塾大学 SFC 研究所 プレスリリース

[http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/press\\_file/20171117\\_kao.pdf](http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/press_file/20171117_kao.pdf)

## ■『家族を育むスタイル・ランゲージ』とは

人の個性がそれぞれであるように、家族のあり方もそれぞれです。食事のときのこと、週末の過ごし方、家庭内のルールなど、自分の家族以外のことは、意外と知らないものです。しかし、もっと多様な家族スタイルに触れてみることであれば、家族のあり方をさらに豊かにし、自分たちらしく育てていくことができるのではないのでしょうか。そのような考えのもと、花王株式会社 生活者研究センターと慶應義塾大学 井庭崇研究室は共同で、多様な家族のスタイルを言語化した『家族を育むスタイル・ランゲージ』を制作しました。

今回制作したのは、390 のスタイルを言語化したスタイル・ワードと、それを表現したスタイル・カードです。これらは、約 130 家族のインタビューから得られた 600 以上の情報から、集約・取捨選択のプロセスを経てまとめられました。個々のカードには、家族のあり方・暮らし方のスタイルを魅力的に表した言葉（スタイル・ワード）と、その紹介文、イメージの写真が添えられています。これらのカードを眺めることで、普段は見るのが難しい他の家族のスタイルを知ることができ、自分たちなりの「日々の世界」をつくるためのヒントにすることができます。また、このカードを介して、他の人と自分たちの家族のスタイルや、これから取り入れてみたいことについて語り合うことができます。

スタイル・ワードには、例えば、以下のようなものがあり、個々のスタイルは、その内容に合わせて 14 のテーマで束ねられています。

### スタイル・ワードの例



### スタイル・ワードの 14 のテーマ

- 🏠 家族の世界
- 🍷 会話の種まき
- 🌟 好きの拡散
- 🕒 家族時間
- ❤️ 感謝のきっかけ
- 📖 外の世界にふれる
- 💕 あたたかなつながり
- 🎵 小さな楽しみ
- 🎈 家族プロジェクト
- 📷 思い出の残し方
- 📢 エールのかたち
- 🗣️ 素直に話す
- 👨‍👩‍👧 一緒に考える
- 🙏 らしさの尊重

## ■多様性を重視・支援するためのランゲージ

『家族を育むスタイル・ランゲージ』では、家族のあり方・暮らし方の多様性を大切にしています。今回まとめたスタイルは多様な家族の事例を可視化して示しているだけで、この通りにやらなければならないものではなく、390 のスタイルすべてを把握する必要もありません。家族は「多様である」ため「とりとめがなく、不透明でわかりにくい」ともいえますが、スタイル・ランゲージでは、多様なスタイルを表現し、それらを垣間見ることができるよう制作されました。このスタイル・ランゲージが、多くの方々が自分たちなりの家族をつくり、「日々の世界」をつくっていくための支援になると、私たちは考えています。

同時に、『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、ある方向に収斂させるためのメディアではなく、多様性を重視し、増長させるメディアと位置づけます。これをきっかけに、自分では思いつかないようなスタイルを知ることができるとともに、自らのスタイルを語りやすくなります。さらに、ここにはない自分たちのスタイルを捉え、新たに加えていくこともできます。『家族を育むスタイル・ランゲージ』は、絶えず未完のオープン・エンドなランゲージなのです。

## ■関連情報

- 1) パターン・ランゲージ「日々世界のつくりかた」について  
[http://www.kao.com/jp/corporate/news/2016/20161117\\_001/](http://www.kao.com/jp/corporate/news/2016/20161117_001/)  
[https://www.sfc.keio.ac.jp/doc/161111\\_PressRelease\\_final3.pdf](https://www.sfc.keio.ac.jp/doc/161111_PressRelease_final3.pdf)
- 2) 冊子 「日々世界のつくりかた」のダウンロード  
<http://www.kao.co.jp/lifei/>
- 3) 楽曲「日々世界」について  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000621.000009276.html>  
[http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/press\\_file/20170822\\_kao.pdf](http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/press_file/20170822_kao.pdf)

■本リリース（MKニュース）に関するお問い合わせ先



花王株式会社 商品広報センター

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10 TEL:03-3660-7259 / FAX:03-3660-7848

<http://www.kao.com/jp/> ©Kao Corporation

※本資料記載の記事・写真の無断転載・複写を禁じます。リンク先は本件掲載時の情報であり、予告なく変更になる場合がございます。

## 「家族を育むスタイル・ランゲージ」の発表とワークショップ

### ～家族の多様性にあらためて驚き、自分の家族なりのスタイルに気付いた貴重な体験～

2017年11月23日、「家族を育むスタイル・ランゲージ」の発表・ワークショップが開催されました。参加者は約90名。慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇准教授からは、このランゲージで「自分では思いつかないような家族のスタイルを知ることにより、自分の家族について考えたり、語りやすくなる」との説明があり、「家族のスタイルに『正解はない』、あるのは『多様性』と『膨大な可能性』』という言葉に、興味がいっそう高まりました。花王生活者研究センター長 宮川聖子氏の、「昨年制作されたパターン・ランゲージ「日々の世界のつくりかた」」に続く「家族を育むスタイル・ランゲージ」を通じて、『自分が生きる世界は自分でつくっていく』ことが、うれしい未来へつながっていく。その支援になれば」という言葉から生活者へのおもいが伝わってきました。

#### スタイル・ランゲージを初体験！

テーブルいっぱいにはげられたスタイルカードはなんと390枚！たくさんの家族の大切なルールや約束、習慣、心に残った風景が「スタイル」として言葉になって、写真も添えられ、手に取る前から思わずワクワク…。課題は「家族の『多様性』を感じる、『宝探し』のように素敵だなと思うカードを見つける、それを周りの人たちと『語り合う』こと。

私が選んだのは「みんながデザイナー」のカード。「家族の誕生日の時は、みんながデザイナーになり、家族全員でリビングの装飾をする。お祝いする側も装飾するのが楽しいので、家族の誕生日が来るのがすごく楽しみだった。」というもの。息子が小1の時にケーキのデコレーションをまかせたことを思い出し、息子の奮闘する姿に成長を感じたことがよみがえってきた。そうした家族の経験してきたことあらためて、しみじみとした愛着を感じたひとときでした。

その場にいたみんなも、自然と自分の家族の話になり、どのテーブルでもみんな笑顔、笑顔！感極まって涙する人も。スタイル・ランゲージによって「感謝」、「喜び」、「懐かしさ」、「小さな後悔」、「ノスタルジー」など、さまざまな感情が呼び覚まされ、時間を忘れて語り合いました。家族へのおもいについて、こんなにもお互いの体温を感じるやりとりができるなんて、他ではない初めての体験でした。

#### 家族の「いま」「これから」におもいはせる貴重な時間に



「家族の多様性をあらためて目の当たりにした貴重な時間」、「ここで感じた家族のありようを自分の家族にもみてもらいたいと思った」、「自分が育った家族と今自分が育てている家族、2つの家族にそれぞれのスタイルがあって、いろいろなおもいが湧き上がった」などの感想が続々。その場にいた全員がもっともっと話したかった！と名残惜しさを感じつつ閉会。たくさんのスタイル・ランゲージにインスパイアされ、自分たちの家族なりに育ててきた無数のスタイルやおもいに気づくことができる貴重な時間になるとともに、これから家族と一緒にどんな「家族のスタイル」、「日々の世界」をつくっていきたいかを考えるきっかけになったように思います。

(ライター 黒岩 久美子)

